

平成30年度 各種調査結果等を活用した学力保障の取組事例

事務所名	県北教育事務所	学校名	軽米町立軽米小学校	TEL	0195-46-2614
------	---------	-----	-----------	-----	--------------

調査結果に基づいた学校と家庭が連携した学力向上の取組

【今年度の目標】

- ・全国学力・学習状況調査と県学習定着度状況調査の国語および算数の正答率は、県平均を目標とする。
- ・県学習状況調査の質問紙調査における「授業がよく分かる」「どちらかといえば、分かる」と回答する児童の割合を90%以上にするとともに、特に「授業がよく分かる」と回答する児童の割合を、国語40%以上、算数65%以上を達成できるように、指導改善を図る。
- ・家庭学習の時間の調査を実施し、各学年の達成率（学年×10+10分）80%を目標として取り組む。

【組織的な対応を図る上で工夫した点】

- I 学力向上推進計画に基づいた取組
- II 調査結果に基づいた取組
- III 校内研究と連動した授業実践と「いわての授業づくり3つの視点」による授業改善
- IV 家庭との連携

【具体的な取組】

I 学力向上推進計画に基づいた取組

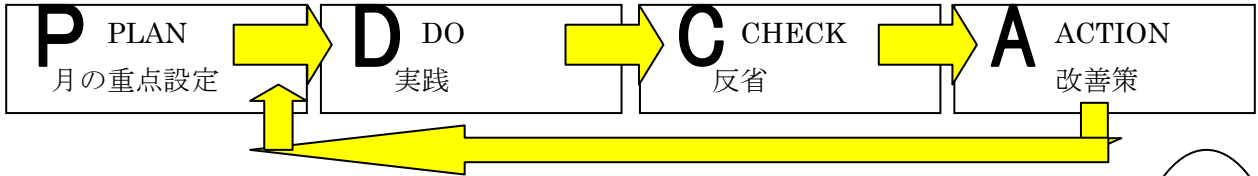
児童の学力の実態把握や学習における課題を分析し、児童一人一人の基礎基本の定着を図るための取組を年間を通して組織的に行っている。

月	主な行事	●学力向上取組	■各種テスト	*町学力向上委員会
4月	■全国学習状況調査(6年)	●学習実態の把握, 前学年の補充指導		
5月	運動会			*町学力向上会議
6月	修学旅行(6年)・宿泊研修(5年)			
7月	●校内学力向上Ⅰ期の取組 ・算数「数と計算」領域の向上	●日常指導の充実 ・わかる授業の推進、学習意欲 →ノートを活用した授業改善 ・学習習慣、家庭学習習慣		
8月	今月のノート			
9月			●満点テスト、チャレンジテストの取組	
10月	■県学習定着状況調査(5年), 学習発表会			
11月	●校内学力向上Ⅱ期の取組			
12月	・今年度内容の定着 今月のノート		■町学力調査(全学年:国語・算数)	
1月	●校内学力向上Ⅲ期の取組 今月のノート			*町学力向上会議
2月	・町学力検査, 県学調の補充指導			
3月	修了・卒業			

*年間を通して・・・雪谷タイム10分間（朝学習） ぐんぐんタイム10分間（昼休み後）

(1)PDCAサイクルによる取組

学力向上推進計画に基づき、月ごとに学年・学級の反省と評価を行った。月末にその月の反省と改善策を記入、また、翌月の重点を記入するようにした。翌月の重点については、全国学調や県学調、普段の単元テストの結果で落ち込んでいる内容、さらに現在の学級の児童の実態を考慮して決定した。



学力向上（国語・算数）を意識したPDCAサイクルの取組（3年 1組）

	取組内容（計画）	実践したこと	反省 ○成果 △課題	改善策
8・9月	<ul style="list-style-type: none"> スキルタイム漢字（漢字の復習） スキルタイム計算（大きな数・かけ算の筆算） 	<ul style="list-style-type: none"> スキルタイム漢字（2年生の漢字の復習） スキルタイム計算（大きな数・かけ算の筆算） 計算スキル（かけ算の筆算） 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間内に終わられる問題量だったので、子どもたちも意欲的に進んでいた。 ○かけ算の筆算の習熟ができた。 △基礎基本（九九や一桁のたし算等）が身に付いていない子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入で九九やフラッシュカード等を行い、基礎基本を繰り返す。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字スキル スキルタイム計算（小数） 四則計算 	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字スキル スキルタイム漢字（2年生の漢字の復習） スキルタイム計算（小数） 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的にローマ字の学習ができた。 △ローマ字の定着の時間を意図的に作る必要があった。 △四則計算の習熟の時間を確保できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字については家庭学習と連動して進めていきたい。 ・四則計算の練習は少しの問題でいいので、定期的に行う。

共有フォルダ内に入れておくことで他学年の様子も知ることができる。

(2)全職員による学力向上を目指した取組

雪谷タイム（朝学習）、ぐんぐんタイム（昼休み後）、放課後学習タイム（11月に7回）では、管理職や担任外を含めた全職員で対応をしている。年間を通して丸付けや個別指導を同じチーム体制で行っている。なお、学期に1回ずつ「学力向上月間」を設け、全校で基礎基本の定着や習熟を図っている。

さらに、年4回の満点テスト、年3回のチャレンジテストでは担任外が問題作成・採点を行った。

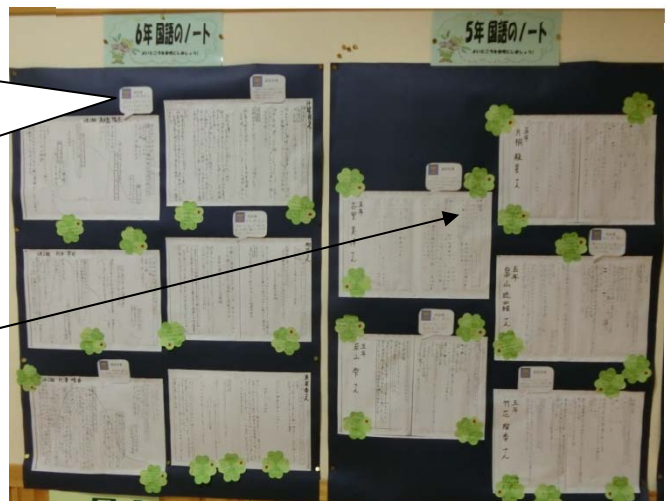


(3)今月のノート

児童の学習意欲の向上と表現力の充実をねらって、年3回ノートコンクールを行っている。1学期は国語、2学期は算数、3学期は自学ノート。学級から代表のノートを提出してもらい、職員室前の廊下に掲示している。

下学年のノートにコメントを記入し、異学年交流も行っている。（6年生には職員がコメント。）

校長賞・副校長賞もあり、コメントを記入している。



II 調査結果に基づいた取組

(1) 全国学調の分析

夏季休業の校内研で全国学調の分析を行った。国語B，算数B，理科の正答率が低かった問題について，グループ毎に解き，交流をした。

また，児童の解答用紙のコピーを使用し採点体験を行った後，再度交流をした。「なぜそう考えたのか」「今後どんな指導が必要か」等，子どもの誤答から多くの発見があるような研修会とした。



↓ 児童の解答のコピー

30個で1本なので $14 \times 30 = 420$ で、420個です。1枚で5個作れるので $420 \div 5 = 84$ で84枚必要です。なので100枚あれば足りません。

1本つくる30個の輪がいります。折り紙6枚で1本作れます。そして $14 \times 6 = 84$ 84枚必要です。100枚は84枚よりも大きい数なので、足りると思います。

1枚の折り紙で5つに分けると30個つくって1本にするには折り紙が84枚必要です。これを14本つくと $6 \times 14 = 84$ なので折り紙が84枚必要です。なので折り紙が100枚あれば、足りません。

研修会の感想

- ・実際に問題を解くことで、子どもたちがどんなところでつまづくのかを体験することができました。
- ・国語の場合，解答した後の見直しや文体を統一させる等について，指導の必要性を感じた。

(2) 各種調査の結果分析による補充指導

昨年度の学力調査（東京書籍）の結果で落ち込んでいる内容についてチェックをし，フォローアップシートを印刷して各学年で取り組んだ。（東京書籍 Web 評価支援システムを利用。）

また，5年生は，夏休み明けのチャレンジテストで正答率が低かった問題についてパワーアップシートを作成し，家庭学習で取り組んだ。採点等について保護者の協力をお願いしている。（作成者：校長）さらに，家庭学習だけで終わらせずに類似問題による確認テストも行い定着を図った。

III 校内研究と連動した授業実践と「いわての授業づくり3つの視点」による授業改善

本校の今年度の研究主題は「確かな学力を身に付ける授業の工夫～ICT を効果的に活用した授業づくりを通して～」である。各教科のねらいを達成するためにどのような ICT 活用があるのか実践事例の収集をしながら研究を進めている。その際、「いわての授業づくり3つの視点」に基づいた授業づくりを意識している。特に、「学習の振り返り」は昨年度までの算数科の研究を踏まえながら児童の意欲面の向上をねらってどの教科でも行うようにしている。中学校とも連携し，振り返りの習慣化を図っている。

↓ 【振り返りの視点】

低学年	中学年	高学年	中学校
○わかったこと	○分かったこと	○分かったこと	中学校
○もっとやってみよう	○気がついたこと	○気がついたこと	
○いいなあとおもったこと	○次に考えてみたいこと	○もっとやりたいこと	
	○友だちの考えをきいて思ったこと	○話し合いで思ったこと	

IV 家庭との連携

(1) ノーメディア

中学校と同じ期間に、ノーメディアの取組を進めている。

家庭学習については学年×10分+10分を目標に時間設定をしている。家庭への協力を依頼し進めている。

あわせて、ゲームの時間や歯みがき、親子読書の項目も設け、生活習慣の見直しや親子がふれあう時間、子どもの様子を見る機会の助長をねらっている。

家庭学習強化期間 学習時間達成状況				
H28 11月	H29 2月	H29 6月	H29 11月	H30 6月
66.0%	79.0%	77.2%	77.2%	83.2%

30年度 第1回健康チャレンジ

取組期間 6月20日(水)～6月26日(火)

年 組 番 名 姓

<我が家のノーメディア>

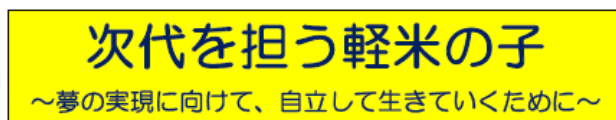
平日は 時から 時まで ・ 休日は 時から 時まで

	20日 水	21日 木	22日 金	23日 土	24日 日	25日 月	26日 火	合計
ノーメディア	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	日
歯みがき								3回 がいた 日
学習	分	分	分	分	分	分	分	
ゲーム	分	分	分	分	分	分	分	
親子読書	🍎	🍎	🍎	🍎	🍎	🍎	🍎	日

(2) 「次代を担う軽米の子」の周知

各家庭に「情報メディアガイドライン」や「家庭学習の仕方」等を含んだ用紙を配布し、協力を依頼している。これは町で作成しているもので、発達段階に応じた目指す姿を項目ごとに示し、学校と家庭・地域の共通理解を図っている。

平成30年度版【改訂版】



作成：軽米町教育委員会事務局
軽米町学校警察連絡協議会
軽米町生徒指導連絡協議会

軽米町では、子どもたちの「生きる力」を育てるために、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を培う教育を推進しております。学校・家庭・地域が同じ方向で取り組み、次代を担う子どもたちが、夢の実現に向けて自立して生きていける力を育みましょう。

I 家庭での過ごし方

	自立した生活	早寝・早起き	あいさつ	読書	家庭学習	食と健康
身につけたい習慣	高校を卒業したら一人ですっきり生活できるように、自分でできることを増やしましょう	6時30分までには起きよう 午後9時以降のメール等のやりとりは控えよう	誰にでも自分から進んであいさつしましょう	家族と相談して、テレビやゲームの時間を決めたり、ノーメディアの日に取り組んだりして読書の時間を増やしましょう	勉強するときはテレビや音楽等を消し、携帯端末(スマートフォン等)もしましましょう	家族と一緒に三食しっかりと食べましょう
高等学校	計画性のある生活 身の回りの整理整頓 家庭での役割(手洗い)	生活スケジュールに沿った生活	時と場に応じたあいさつ・言動	心を豊かにし、知識を深める本を選んで	1年生 120分 2年生 130分 3年生 180分	①食事の時間 ・テレビを消して ・今日の出来事を話そう ②食事のマナー ・はしや食器の持ち方 ・食器の並べ方 ③バランスよく ・嫌いなものでも少しずつ ④感謝して 「いただきます」「ごちそうさまでした」
中学校	家庭での役割(手洗い) 身の回りの整理整頓 自分で着替えの準備 前日に学校の準備	午後11時までには寝よう			90分以上	
小学校高学年	家庭での役割(手洗い) 身の回りの整理整頓 自分で着替えの準備 前日に学校の準備	午後10時までには寝よう			60分以上	
小学校中学年	身の回りの整理整頓 自分で着替えの準備 前日に学校の準備	午後9時30分までには寝よう	進んであいさつ	いろいろな種類の本を進んで	40分以上	
小学校低学年	前日に学校の準備	午後9時までには寝よう	元気なあいさつ	自分で読んだり読み聞かせをしてもらったり	20分以上	

子どもたちが健康で心豊かに生活し、自立した大人になっていくためには、家庭での動かしと縁が必要です。善い行いはどんどんほめて、まちがった行いはしっかりと注意して(時には叱って)あげてください。学校・家庭・地域みんなで子どもを育てましょう。

(3) 満点テスト(国語・算数)

年4回、国語と算数の満点テストに取り組んでいる。問題を事前に提示して家庭学習で取り組ませることにより、「努力を積み重ねればよい結果が得られる」ことを体感させ、学習意欲を高めるとともに、学習内容の定着を図ることをねらいとした取組である。練習の採点について、PTA総会や学年通信を利用して家庭へ協力を依頼している。保護者が子どもの学習の様子にふれる機会となり、また、子どもの意欲の継続にもつながると考え取り組んでいる。

【成果】

- ・ P D C A サイクルの記入を月毎に位置づけることで、意図的・計画的な補充指導をすることができた。特に5年生の算数について、実態把握をもとに家庭学習と連動しながら取り組むことで、県学調では県平均を8ポイント上回ることができた。
- ・ 朝学習等で全職員が指導に入り組織的な取組を進めることで、一人一人の様子を一層見取り、個々の困り感に寄り添いながら対応することができた。そして、児童の学力向上につなげることができた。
- ・ 校内研で全国学調の分析を行ったが、児童の解答の採点を体験することで児童がどこでつまづいているのかが分かった。授業改善の視点を全職員で確認し、共有することができた。
- ・ ノーメディアの取組を家庭と協力しながら継続して取り組むことで、家庭での学習時間の意識化が図られるようになってきた。

H30 全国学力・学習状況調査 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	74	55	64	50
岩手県	74	57	63	51

H30 県学習状況定着度調査 平均正答率 (%)

	国語	算数
本校	58.6	66.0
岩手県	61.1	58.0